

2023年10月23日 月曜朝会 「多様性」「国連デー」

皆さんおはようございます。朝晩がだいぶ寒くなってきていますが、元気にしていますか？一寸インフルエンザが流行っていますが、栄養をしっかり摂り、睡眠をとって乗り越えてください。あと手の消毒が一番予防にいいようです。

音楽発表会のための若桐の時間がありましたから、久しぶりの朝会となりました。発表会から一週間が過ぎましたが、まだ皆さんがステージに立って素晴らしい演奏や合唱する姿が頭から離れません。それほど1年生から6年生までが一生懸命に取り組んで素晴らしい発表をしてくれた証であると思っています。多くのお客様が「毎年のように感動しますが、今年も素晴らしかった」とお褒めの言葉を残してお帰りになったことが何よりも嬉しい事でした。

この3年間は、府中の森芸術劇場、渋谷オーチャードホール、そして今年が多摩パルテノンホールと毎回会場が変わり、大変なことだったと思います。それでも皆さんが同じように演奏や発表ができたのは、皆さんの努力と共に先生方の頑張りがすごかったと私は思っています。

夏休み中に先生方は、多摩パルテノンホールに行って舞台の大きさや、舞台裏、観客席など、本番に児童の皆さんやお家の人たちが困らないように、下準備をしてくださいました。本当に先生方の力とそれを受けて頑張った児童の皆さんの努力の結果が、今年の音楽発表会の大成功の要因だと強く感じています。

以前の朝会で、素晴らしい伝統とは毎年毎年積み上げていかれる素晴らしい努力があってこそ作られていくのだと皆さんに伝えました。

6年生をリーダーに、皆さんは新たな伝統を積み上げることが出来ました。

ただ、そこには先生方やお手伝いに来てくださったお家の方々の協力があったことであると全員で感謝をしましょう。

さて、土曜日には1, 3, 5年生の教育懇談会がありました。水曜日には2, 4, 6年生の懇談会が行われます。そこでお家の方々にお話したことがあるのですが、それは「多様性」という言葉についてなのです。

低学年の皆さんには少し難しい言葉ですが、聞いてください。

「多様性」とは、国や人種、性別や言葉や文化、物事の考え方や価値観など、自分と違った外見などの見た目や、その人が育ってきた環境や心情などを、お互いに認め合って生活していくという事なのです。

世界には約200近い国や地域があって、肌の色や、生活習慣、服装や言葉も違い、宗教や考え方も違います。食べるものや飲むものの好みも違うでしょう。

でも、そういった人たちがいることが当たり前で、そのような中に入っている皆さんは、どのようにして上手に一緒に生活していくのかを考えていかなければならないということが、今とても大切になってきているのです。

とても大きなテーマの話のように思われえますが、私たちの学校の中を見てください。教室の中にも、男子がいたり、女子がいたり、大きな人がいれば小さな人もいます。同じものを食べても美味しいと感じる人がいれば、一寸苦手かなと感じる人もいます。生まれた場所だってみんな違うでしょう。

育った環境や考え方だって違うと思います。けれどもその違う人たちが一緒になって一つのクラスで勉強したり、音楽発表会で素晴らしい発表をしたりしているのです。

大切なのは、色々な違いをもった人たち同士が、お互いを認め合って協力しながら、お互いが心地よく生活し、向上させていくという事です。

そういう世界には、いじめや喧嘩はいけないことだとわかるでしょうし、他人に迷惑をかけるような、自分さえよければいいなどという人は一番恥ずかしい人間になっていくのだということも良くわかりますね。

ぜひ、皆さんで「多様性」ということに取り組んでいって欲しいと思います。



明日は、「国連デー」です。1945年10月24日に世界の平和と文化、財産を守ることを目的として「国際連合」が発足した日です。

具体的には次のことが記されています。

- ① 国際平和・安全の維持
- ② 諸国間の友好関係の発展
- ③ 経済的・社会的・文化的・人道的な国際問題の解決のため、および人権・基本的自由の助長のための国際協力

しかし、世界の平和を守ることは大変難しく、現在も国同士や国の中でも戦いが行われています。

世界の人々が、国連のテーマを理解し、今日話した「多様性」を認め合える日が来るように、私たちは常に学び、考え、実行していかなければならないと強く感じています。皆さんも一緒に考えていきましょう。